

# 2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	後藤 啓
研究課題	労働者の能力分布の違いが国際分業とオフショアのパターンに与える影響の分析				
研究キーワード	オフショア、分業、貿易、所得格差	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

Goto, Ma, and Takeuchi (2017) では、Grossman and Maggi (2000) を拡張し、平均的な能力レベルの高い国は、タスク間の補完性が強い産業の生産に特化するようになること、および、国間で賃金は均等化せず、オフショアの誘因が生じることを示している。これまで、いくつかの改定を重ね、Goto, Ma, and Takeuchi (2022) では、より一般的な仮定のもと、より詳細な厚生分析を行い、実証分析との関係を議論している。現在は、専門誌から改訂要求を受けており、掲載を目指して改定を行っている。

[1] Goto, Ma, and Takeuchi. 2022. “Offshoring and the Distribution of Skills” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series, No. 2022-13

[2] Goto, Ma, and Takeuchi. 2017. “How do the average skill and the skill dispersion affect offshoring?” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series No. 2017-07

[3] Grossman and Maggi. 2000. “Diversity and Trade”, American Economic Review, 90, pp.1255–1275

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

### 【論文（査読あり）】

特になし

### 【著書・論文（査読なし）】

Goto, Ma, and Takeuchi. 2022. “Offshoring and the Distribution of Skills” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series, No. 2022-13

### 【学会発表等】

特になし

## 3. 主な経費

研究打ち合わせのための出張

## 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

### 【科学研究費】

若手研究: 平成 31 年度～平成 32 年度, 研究代表, 課題名 『一国および地域の人口動態に関する空間経済研究』(19K13691) (研究期間を延長中)

【個人研究外の学会・研究会】

[1] 第70回 KMSG(Kobe Macroeconomics Study Group)研究会、2022年6月18日

題目: Agglomeration, Fertility and Life Expectancy

発表者: 後藤啓 (南村圭哉氏との共著)

[2] 第8回愛知大学経済学会ささしまセミナー、2022年9月26日

題目: Agglomeration, Fertility and Life Expectancy

発表者: 後藤啓 (南村圭哉氏との共著)

[3] 第36回応用地域学会研究発表大会、2022年12月18日

題目: Agglomeration, Fertility and Life Expectancy

発表者: 後藤啓 (南村圭哉氏との共著)

(本文は2ページ以内にまとめること)